

事務事業 No./名 称	☒ サービス部門 まち-09 緑政運営事業 ☐ 支 援 部 門										
主管課	みどり課				関連課						
分野名	みどり										
目標 (目標値)	緑の基本計画に沿った施策展開により計画を実現する。										
人口等のデータ	データ区分	25年度			24年度			23年度			備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人 口	177,895人			177,224人			177,204人			
	世 帯 数	80,295世帯			79,669世帯			79,217世帯			
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	1,049			1,299			3,259			
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	1,049			1,299			3,259			
	人員配置数	2.3人			2.3人			3.3人			
	人 件 費(千円)	17,791			18,594			29,375			
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	18,840			19,893			32,634			
	市民1人当りの経費(円)	106			112			184			
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
緑政運営事業	1,049	緑政運営事業	1,233	今後の 方向性	B	理由 ・手法	緑の基本計画に沿った施策展開を継続するための 必要不可欠な事業を実施する。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・地区指定に向け、継続して(仮称)上町屋特別緑地保全地区の土地所有者の理解が得られていない。 ・第2期基本計画後期実施計画で平成25年度実施予定であった、(仮称)植木特別緑地保全地区の都市計画決定図書作成は、厳しい財政状況を踏まえ、予算措置がされなかったため、作成作業が大幅に遅れている。													
課題解決のための取組	・上町屋地区の指定に向け、引き続き土地所有者に協力を求めたが、必要な理解と協力は得られていない。							取組の結果	☐ 解 決 ☒ 未解決					
未解決の課題	・平成24年度に国庫補助金を活用し、(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定に必要な一部の土地を買い入れており、今後速やかに指定する必要がある。 ・平成24年度の(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定に向けた取組が進まなかったため、指定に合わせて実施する予定だった標識の設置を取りやめた。 ・財政状況を踏まえた、今後の特別緑地保全地区の指定等の方向性を検討する必要がある。													
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				→		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・引き続き、緑の基本計画に基づく施策・事業等の取り組みとして、その成果・実績をまとめた「鎌倉市のみどり(緑の基本計画推進の取り組み)」を、緑政審議会に報告の上で、公表しながら計画の進行管理に努め、計画実現に向けた国・県等との連携・調整を図る。 ・(仮称)上町屋特別緑地保全地区の指定に向けた調整に努める。 ・今後、地区指定の方向性が明確になり次第、指定に必要な図書の作成・標識設置に係る予算措置することとした。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			→ B			
※○事業完了														
評価者名							みどり課長 川名 達哉							

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
緑政運営 事業	緑の基本計画実現に向けた事業の推進					○	○	○	○
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		300	緑政審議会委員報酬 15人	366	154	○	○	○	○
		300	緑化推進専門委員報酬 1人	408	408	○	○	○	○
		300	緑政審議会の審議に関する事前打合せに伴うお礼	4	2	○	○	○	○
		300	消耗品費	156	156	○	○	○	○
		300	印刷製本費	119	16	○	○	○	○
		919	特別緑地保全地区標識設置業務委託料	150	0	○	○	○	○
300	森林協会等負担金	313	313	○	○	○	○		
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									